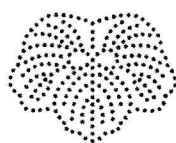


「リゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に向う。という気持ちでお届けしています。



リゅうま伝

57号
2024年8月26日
高野 亮馬

「周年行事」

レミの抜け殻に、我が身を思う
今日この頃です(笑)。
今月7日に私から代目会長を
務める伊都倫理法人会の10周
年行事があった為、お盆休み
は、まさに燃え尽きていました。
皆様は、この夏、いかが過ご
されましたでしょうか？
年を取ったからか、それとも私
が主催者だ、だからか、今回の
周年行事は妙に感慨深い
ものでした。
私は、この会で節目を祝う
意義は①事業の継続発展
を祝う、②過去への感謝を
深める、③未来への決意を
新たにすることと習いました。
そこで私達は周年行事の
準備にあたり、会の設立に

貢献された方々にインスピレー
ションをいただきました。そうして、
会の歴史を振り返ると、いか
に恵まれた状態か私に会
長バッジが引き継がれてき
たのか、よくわかりません。
とりわけ初代会長から引
き継がれる「一生懸命」(ひた
まき)さは、伊都倫理法人会
のDNAです。
設立にあたって汗を流した人
の恩を知り、歴代会長をほ
じめとする諸先輩方の苦
労を知り、今ともに活動して
くれる仲間への感謝の念を
抱くことで、更に良い会にす
る決意を新たにしました。
現在、会の運営は順調であ
るものの、私一人で作り上げた
ものなど何一つありません。
だからこそ、私に求められて

いるのは、今この瞬間を大事
に、為すべきことを着実に
こなしていくことだと思っ
ていました。
そして気がつけば、独立して
始めた「リゅうま伝」も、まも
なく5年。無我夢中で忘れ
かけていたとはいえ、仕事だけ
でなく、家庭においても節目
をつけていきたいものです。
節目をつけることで、しなや
かに強い人間になっていける
ことでしょうか。
また周年行事をしたことで
幹事さん達の一体感が高ま
ったことも予期せぬ効用で
した。このようなイベントでは
想定外の出来事が次山起こ
ります。タイムスケジュールが、お
りても皆が独自の判断で会長
である私の望む方向に対処
してくれたのは不思議な体
験でした。「心が揃うとは、
こういうことなのか」と実
感した次第です。これもチ
ーム運営や事業に活用で

さる貴重な体験でした。
さて、「初心忘るべからず」と
は、物事を始めた時の初心を
けでなく、その時々の初心、周年
行事のような節目の「今」感
じている気持ちも忘れては
なりませんよ、という意味も
あるのだそうです。
私が「今」感じている「初心」
を忘れることなく残された任期
(一年)を全うします。
という訳で糸島界限に力
ツコイ経営者をお知りの方
がいらしたら、是非ご
紹介ください。



たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13
☎090-3407-2123
<https://www.takanozaikai.com> x-11 fp.takano@gmail.com